

久喜市放課後子ども教室「ゆうゆうプラザ」令和4年度活動報告書発刊にあたり、日頃から各校ゆうゆうプラザの企画・運営に携わる実施委員の皆様をはじめ、講座指導者、保護者や地域サポーターの皆様方、学校関係者など、格別なるご理解とご支援をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、本市では、SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない教育」の実現を目指し、学校教育や生涯学習における各種事業に取り組んでおります。「未来をひらく、心豊かな久喜の人づくり」の基本理念のもと、基本方針の柱の一つに「絆を深め、地域社会と連携した教育」を掲げ、学校と地域、家庭をつなげ、元気な社会を創造する積極的な教育行政を推進しております。

ゆうゆうプラザにつきましては、平成17年の開設以来、次代を担い、未来を創り出す子どもたちのため社会総がかりの教育のもと、体験を通じた学びや異学年・異世代間の交流、家庭・地域の教育力向上等に寄与してまいりました。コロナ禍の中ではありましたが、2600人にもものぼる児童が参加するほか、2000人を超える地域住民皆様のご協力をいただき、充実した事業が行われました。特に令和4年度は、167人の中学生サポーターの参加があり、新たな可能性や付加価値が生まれたのではないかと感じております。

現在、グローバル化、急激な情報化の進展や技術革新の中、子どもたちには持続可能な社会の創り手として、未来を拓き、よりよい社会と幸福な人生を育む力が求められております。また、子どもたちの成長を支える「学び」の在り方も大きな変化が訪れております。子どもたちがワクワクする気持ちを胸に、未知の課題に挑戦し、柔軟な発想で解決を図る力を育てる「学び」が必要であります。本市のゆうゆうプラザの活動が、その「学び」の一助を担っていただいておりますことに、重ねてお礼を申し上げます。

結びに、放課後子ども教室「ゆうゆうプラザ」の諸活動を、熱心に推進していただいております久喜市放課後子ども教室運営委員会の皆様方に敬意を表しますとともに、各校ゆうゆうプラザのより一層のご発展を祈念申し上げます。

「子ども等が夢と自信を育みて 未来を拓くゆうゆうプラザ」

運営委員会会長 金子 雄司

コロナ禍3年目の活動が、21ゆうゆうプラザすべてで開校できましたことが、子ども達にとって大きな喜びとなっています。そして、率先して運営等にあたられる委員長をはじめ実施委員の皆様、講座に係る指導・活動・下校のサポーター、保護者、地域の方々、活動に助言や支援をいただいております校長・学校関係者、並びに久喜市教育委員会に衷心より感謝申し上げます。「より楽しく、より生き生きと、とも（共・友）に！」のキャッチフレーズ、各プラザで様々な所で具現されていきました。常に笑顔や喜びがあり、瞳が輝き、各人・活動が生き生きとしています。例えば・・・

<子ども>

- *自分だけのものが作れる。
- *続けて体験できる。
- *新しいものに挑戦できる。
- *一人で、グループで参加でき、楽しめる。
- *スタッフや友達の支援・励ましを受けて、達成できる。 等

<スタッフ等>

- *仲間ができて、出会いや話題が増える。
- *実施委員会や講座の開設前・終了後の打合せで、いつも明るく前向きになる。
- *中学生サポーターが大活躍。小学校時代の経験を生かし、お兄さんお姉さんとして活動をサポート。 等

ゆうゆうプラザ同士の交流。子どもやスタッフ等の新たなコミュニティづくりが、今始まります。

結びに、活動にあたり格別のご指導・ご支援を賜ります教育委員会事務局担当者、久喜市、各小学校、関係団体に感謝と敬意を表しますと共に、「チーム ゆうゆうプラザ」の更なる活動をこれからも推し進めてまいります。